

平成20年度 事業計画のあらまし

平成20年度事業計画のポイント

【完成事業】

- ・ 直轄石川海岸(小松工区)の整備推進【人工リーフ5基目完成】
- ・ 海岸堤防災害復旧工事(小松、片山津工区)の完成

【継続事業等】

- ・ 手取川水系手取川 堤防の質的整備の推進(急流河川対策)
- ・ 手取川水系手取川 自然再生事業
- ・ 梯川水系梯川 梯川重点区間改修事業の推進
- ・ 手取川水系牛首川 別当出合床固工群の整備推進
- ・ 手取川水系牛首川 女原上流砂防えん堤の整備推進
- ・ 手取川水系 砂防えん堤補強対策
- ・ 甚之助谷地区地すべり対策事業の整備推進

1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、事業評価の厳格な実施、公共工事のコスト縮減、入札・契約制度に係る競争性・透明性の向上の実施により、一層効果的かつ効率的に事業を推進するとともに、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

2. 主要施策

◆ 安全で安心な地域づくり ◆◆

【完成事業】

○ 直轄石川海岸(小松工区)の整備推進 …資料1

(予算額 約7.2億円)

海岸侵食が著しく護岸等の被災が頻発している小松工区で、侵食対策として人工リーフ(5基目暫定完成)を整備します。(小松市)

○ 平成19年1月冬期風浪、平成19年10月低気圧、平成19年11月冬期風浪により被災した海岸堤防の災害復旧工事完成【石川海岸(小松、片山津工区)】

…資料2, 3, 4

(予算額 約2.2億円)

平成19年1月7日冬期風浪により被災を受けた小松市浜佐美地先、平成19年10月20日低気圧により被災を受けた小松市安宅新地先及び平成19年11月12日冬期風浪により被災を受けた加賀市篠原地先の海岸堤防災害復旧工事を完成させます。(小松市、加賀市)

【継続事業等】

○ 堤防の質的整備の促進(急流河川対策)【手取川】 …資料5

(予算額 約1.8億円)

急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既設堤防に腹付け盛土をするとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を実施します。平成20年度は引き続き、能美市出口地区において整備を推進します。(能美市)

○ 大規模引堤による治水安全度向上(重点区間改修)^{ひきてい}【^{かけはしがわ}梯川】 ……資料6

(予算額 約18億円)

^{まえかわ}前川合流点から^{なべたにがわ}鍋谷川合流点までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次^{ひきてい}引堤による堤防整備を行っており、引き続き重点改修区間の堤防整備(引堤)等を推進します。平成20年度は、^{こまつちく}小松地区の堤防整備(引堤)を推進するため用地買収等(水路・市道付替等)、^{こまつ}附带施設(小松大橋・天神水管橋等)の改築等を促進します。(小松市)

○ 手取川水系^{べつとうであいとこがためこう}別当谷合床固工群の整備促進^{しらみね}(白峰地区) ……資料7

(予算額 約5億円)

^{べつとうたに}荒廃した別当谷の^{べつとうであいとこがためこう}溪床の安定化を図るため、別当谷合床固工群の整備を推進します。^{はくさん}(白山市)

○ 手取川水系^{おなばらじょうりゅう}女原上流砂防えん堤の整備促進^{おなばら}(女原地区) ……資料8

(予算額 約2億円)

^{おなばら}白山市女原上・下溪流は、溪床に堆積した土砂が豪雨等によって土石流化する恐れがあり、下流の民家や研修センター、集会所などに被害を及ぼす恐れがあることから土石流危険溪流に指定されています。^{おなばら}女原地区を土石流災害から保全するため、土石流対策の整備を実施します。^{はくさん}(白山市)

○ 手取川水系砂防えん堤補強対策^{うしくび おぞ}(牛首川・尾添川) ……資料9

(予算額 約8.6億円)

手取川水系の砂防事業は、大正元年に石川県、昭和2年からは国による工事が実施され、老朽化や不安定な状態となっている砂防えん堤が多数存在しています。土石流や大規模土砂流出に備え、機能・安全度の評価により機能低下及び下流への影響が大きい施設から順次補修・補強等の機能保全を図る必要があるため、平成20年度から手取川水系における砂防えん堤の補強を図ります。^{はくさん}(白山市)

○ ^{じんのすけたに}甚之助谷地区地すべり対策事業の整備促進^{しらみね}(白峰地区) ……資料10

(予算額 約3.8億円)

白山の南西側斜面、手取川の最上流部に位置する^{じんのすけたに}甚之助谷地区において、地すべりの原因となる地下水の排除を主体とした地すべり防止対策事業を推進します。^{はくさん}(白山市)

◆ 美しさと文化の香りがする地域づくり◆◆

【継続事業等】

○ 魅力ある河川空間の創出(自然再生事業)^{てどりがわ}【手取川】

…資料 11

(予算額 約0.6億円)

かつて、手取川は扇状地^{せんじょうち}河川の特徴としての原風景である「石の河原」が手取川全川に広がっていましたが、現状で河床^{かしょう}の低下により一部河床に岩^{かしょう}が露出^{ろしゅつ}してきており、河川の流況によっては、魚類等の生息環境が悪化してきているため、バランスのとれた河川環境の保全に配慮しつつ、石川県の名の由来となった手取川の原風景である「石の河原」の復元^{はくせん}に取り組みます。(白山市)